

株 主 各 位

静岡県富士宮市上井出 2266 番地  
株式会社エッチ・ケー・エス  
代表取締役社長 水口 大輔

## 第47期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、当社第47期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、株主の皆様におかれましては、極力、書面により事前の議決権行使をいただき、株主様の健康状態に関わらず、株主総会当日のご来社をお控えいただくようお願い申し上げます。

お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2020年11月26日（木曜日）午後5時30分までに到着するようご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 2020年11月27日（金曜日）午前10時
  2. 場 所 静岡県富士宮市北山7181番地  
当社本社工場4号棟3階会議室  
（末尾の株主総会会場ご案内図をご参照ください。）
  3. 目的事項  
報告事項
    1. 第47期（2019年9月1日から2020年8月31日まで）  
事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の  
連結計算書類監査結果報告の件
    2. 第47期（2019年9月1日から2020年8月31日まで）  
計算書類報告の件
- 決議事項
- 第1号議案 剰余金処分の件
  - 第2号議案 定款一部変更の件
  - 第3号議案 取締役3名選任の件

以 上

当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

本招集ご通知に際して提供すべき書類のうち、「業務の適正を確保するための体制」「連結計算書類の連結注記表」「計算書類の個別注記表」につきましては当社ウェブサイト（<https://www.hks-global.com/>）に掲載しておりますので、本添付書類には記載していません。したがって、本招集ご通知の添付書類は、監査報告を作成するに際し、監査役および会計監査人が監査をした対象の一部であります。

なお、株主総会参考書類、事業報告、連結計算書類および計算書類に修正が生じた場合には、インターネット上の当社ウェブサイト (<https://www.hks-global.com/>) に掲載させていただきます。

### 新型コロナウイルス感染防止への対応について

#### 【株主様へのお願い】

- ・会場受付付近に、株主様のためのアルコール消毒液を配備いたします。また、検温のご協力をお願いする予定でございます。
- ・体温が37.5度以上の株主様には本会場への入場をお控えいただく場合がございますのでご理解いただきますようお願い申し上げます。
- ・ご来場の株主様は、マスクの持参・着用をお願い申し上げます。
- ・株主総会の運営スタッフは、マスク・フェイスシールド等着用で対応させていただきますのでご理解いただきますようお願い申し上げます。
- ・開催時間を短縮するため、議場における報告事項および議案の詳細な説明は省略させていただきます。株主様におかれましては、事前に招集通知にお目通しいただけますようお願い申し上げます。
- ・今後の状況により株主総会の運営に大きな変更が生ずる場合は、インターネット上の当社ウェブサイト (<https://www.hks-global.com/>) にてお知らせいたします。本株主総会へご出席される株主様におかれましては、事前に当社ウェブサイトをご覧くださいようお願い申し上げます。

## (添付書類)

### 事業報告

(2019年9月1日から  
2020年8月31日まで)

#### 1. 企業集団の現況

##### (1) 当連結会計年度の事業の状況

###### ① 事業の経過および成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、当初は雇用、所得環境の改善が続き景気は緩やかに回復しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の世界経済全体への影響により急激に経済状況が悪化し、先行き不透明な状況となっております。

このようななか、当社グループが主とする自動車のアフターマーケット事業の売上高は、国内においては、消費税引き上げに伴う駆け込み需要が発生したこと、およびその反動減が予想より小さかったことから、上期までは前期比で増加となっておりますが、4月、5月の緊急事態宣言下では売上高は前年の2割減に落ち込みました。しかしながら6月に入ると売上高は回復に向かい、累計では前期比で微増となりました。海外においては、北米、欧州ともに、4月、5月は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で売上高は前年の3割近く落ち込みましたが、アジアでは新型コロナウイルス感染症拡大による低迷から持ち直しており、特に中国ではスーパーチャージャー、オイル系商材等の売上高が伸長したことで、海外全体では前期比で増加となりました。アフターマーケット以外の分野では、製造受託、開発受託ともに、委託メーカーの減産や開発計画の見直し等の影響を受けて売上高は減少し、IoTの売上高も開発の遅れから前期比で減少となりました。以上の結果、当連結会計年度における連結売上高は7,226百万円(前期比4.2%減)となりました。

損益面では、減価償却費および試験研究費等は増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により旅費交通費および広告宣伝費等が減少したことから、販売費及び一般管理費は前期に比べ10百万円減少しました。しかしながら売上高の減少の影響が大きく、営業利益は97百万円(前期比50.8%減)、経常利益は140百万円(前期比37.0%減)と前期を下回りました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当社の連結子会社の日生工業株式会社が保有する固定資産に対する減損損失32百万円等の特別損失の計上がありました。 「新規産業立地事業費補助金」「次世代自動車技術革新対応促進助成金」等の補助金収入94百万円等が特別利益に計上されたことにより、148百万円(前期比40.2%増)となりました。

## ② 設備投資の状況

当連結会計年度において実施した企業集団の設備投資額は373百万円であり、その主なものは、当社における自動車部品の加工・試験設備の取得および営業所用借地の購入等によるものであります。なお、その所要資金は自己資金および銀行借入でまかなっております。

## ③ 資金調達の状況

当連結会計年度において設備投資に必要な資金、その他所要資金は銀行借入および手許資金によって充当しております。また、当連結会計年度において募集株式発行および社債発行等の資金調達は行っていません。

## ④ 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

該当事項はありません。

## ⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

## ⑥ 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

## ⑦ 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得または処分の状況

該当事項はありません。

## (2) 財産および損益の状況

項 目	第 44 期 2017年 8 月 期	第 45 期 2018年 8 月 期	第 46 期 2019年 8 月 期	第 47 期 2020年 8 月 期
売 上 高 (百万円)	7,075	7,317	7,545	7,226
経 常 利 益 (百万円)	264	221	222	140
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 (百万円)	191	100	105	148
1 株 当 た り 当 期 純 利 益 (円)	132.74	69.46	74.23	104.90
純 資 産 (百万円)	8,506	8,550	8,549	8,619
1 株 当 た り 純 資 産 額 (円)	5,865.61	5,903.10	6,024.01	6,091.44
総 資 産 (百万円)	11,503	11,475	12,180	11,758

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数（自己株式数を控除した株式数）により算出しております。
2. 当社は、2018年3月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。また、2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第44期の期首に当該株式併合および当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益および1株当たり純資産額を算定しております。
3. 『「税効果会計に係る会計基準」の一部改正』（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第46期の期首から適用しており、第45期における総資産額については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標となっております。

### (3) 重要な親会社および子会社の状況

#### ① 親会社の状況

該当事項はありません。

#### ② 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	議決権比率	主 要 な 事 業 内 容
HKS EUROPE LIMITED	千英ポンド 573	100.0	自動車関連部品の販売
HKS (Thailand) Co., Ltd. (注) 1、2	千タイバーツ 8,000	49.0 [51.0]	自動車関連部品の販売
HKS-IT Co., Ltd.	千タイバーツ 120,000	100.0	自動車関連部品の製造・販売
艾馳楷吋(上海)貿易有限公司	千円 30,000	100.0	自動車関連部品の販売
HKS USA, INC.	千米ドル 300	100.0	広報・サービス・マーケティング
日生工業株式会社	千円 99,000	100.0	自動車関連部品の加工
株式会社エッチ・ケー・エス テクニカルファクトリー	千円 40,000	100.0	自動車関連部品の販売

- (注) 1. 議決権の所有割合の [ ] 内は、緊密な者または同意している者の所有割合で外数となっております。
2. 持分は100分の50以下ではありますが、実質的に支配しているため子会社としたものであります。

#### (4) 対処すべき課題

当社は、継続的な成長を目指すため、対処すべき課題（経営目標）を以下のとおり設けており、その実現のための各種施策を展開してまいります。

##### ①将来に向けた人材の育成強化

- ・卓越した技術・技能を持つ社員、常に関連部署の立場を考え協力・推進出来る社員、自身のスキルアップに挑戦し、プロセスを共有して結果を出す社員を育成します。
- ・第50期を大きな節目として、各事業の中期開発・事業計画を練り上げ全社員との共有化を図り、中長期視点に立った組織・人事制度の見直しと人材育成の強化を図ります。

##### ②品質目標

- ・お客様に喜んでいただく商品・サービスの提供を目指し、お客様の不満・要望・意見を正確に把握し、迅速に対応します。

##### ③生産性向上

- ・開発・製造部門は、設計・試作・加工ミス、仕損ゼロを目指し、ムダを生む原因を徹底的に排除します。
- ・営業部門は、コロナ禍で営業活動の多様化に対応し、よりB to Cを意識して予算達成を目指します。
- ・間接部門および全部門は、業務フローの改善として、ペーパーレス化への移行、および管理システムのデジタル化を進めていきます。（顧客管理、パフォーマンスディーラー店連携強化、経費精算、工場予防保全等）
- ・各部署、各課の垣根を越えて会社全体の利益を考え、関係先と議論しながら実行に移していきます。

##### ④商品企画力の強化

- ・商品性向上：機能＋美観を備えた商品を開発・生産する為に全社協力体制で取り組みます。
- ・高級車ゾーン、ボリュームゾーンそれぞれのユーザーターゲットを意識した商品を企画します。
- ・開発・営業部署だけではなく、全従業員が商品提案出来る仕組みを構築します。
- ・新規商品の開発着手・予算執行は、開発・商品戦略・営業・拠点・関係部署も交え、商品の企画を煮詰め承認後に実行します。

⑤受託事業で培った技術をアフターマーケットに活かす

- ・商品開発部署と連携し、I o Tや過給機の受託事業で培った技術を活かした製品を開発し、アフターマーケットへ展開していきます。

⑥次世代自動車に向けた取り組み推進

- ・既存ビジネスに加え、「x E V」(電動車) 展開も視野に入れ電動化に向けた業務模索を開始し、S D G s (持続可能な開発目標) を意識した取り組みを推進します。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

#### (5) 主要な事業内容 (2020年8月31日現在)

当社グループは、アフターマーケット向け自動車部品および軽量小型エンジン等の製造および販売を行っております。

主要な品目は、次のとおりであります。

区 分	主 要 品 目
自 動 車 部 品	マフラー、電子関連製品、ターボ関連製品、サスペンション関連製品、用品関連製品、エンジン関連製品、N G V関連製品等
軽 量 小 型 エ ン ジ ン	軽量小型飛行機用エンジン

#### (6) 主要な営業所および工場 (2020年8月31日現在)

当社	本社：静岡県富士宮市上井出2266番地
	工場：本社工場（富士宮市）、富士宮工場
	営業所：東京（埼玉県戸田市）、名古屋、大阪（箕面市）
	サービスセンター：テクニカルファクトリー札幌
	東京開発オフィス：東京都千代田区
HKS EUROPE LIMITED	英国ケンブリッジシャー州
HKS (Thailand) Co., Ltd.	タイ国サムットプラカーン県
HKS-IT Co., Ltd.	タイ国サムットプラカーン県
艾馳楷时(上海)貿易有限公司	中国上海市
HKS USA, INC.	米国アリゾナ州
日生工業株式会社	埼玉県児玉郡美里町
株式会社エッチ・ケー・エス テクニカルファクトリー	埼玉県戸田市

(7) 使用人の状況 (2020年8月31日現在)

① 企業集団の使用人の状況

使用人数 (名)	前連結会計年度末比増減 (名)
345 (52)	△7 (+4)

(注) 使用人数は就業員数であり、パートおよびアルバイトは ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

② 当社の使用人の状況

使用人数 (名)	前期末比増減 (名)	平均年齢	平均勤続年数
253 (42)	△2 (+3)	40歳9ヶ月	16年9ヶ月

(注) 使用人数は就業員数であり、パートおよびアルバイトは ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

(8) 主要な借入先の状況 (2020年8月31日現在)

借入先	借入額
株式会社静岡銀行	709百万円
株式会社三菱UFJ銀行	386百万円
株式会社山梨中央銀行	300百万円

(9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。



## 2. 会社の状況

### (1) 株式の状況（2020年8月31日現在）

- ① 発行可能株式総数 3,200,000株
- ② 発行済株式の総数 800,000株（自己株式92,478株を含む）
- ③ 株主数 289名
- ④ 大株主（上位10名）

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社アポロ	317千株	44.9%
株式会社静岡銀行	34	4.8
東京海上日動火災保険株式会社	27	3.8
株式会社山梨中央銀行	26	3.7
服部勝也	23	3.3
静岡キャピタル株式会社	19	2.8
H K S 従業員持株会	19	2.7
山本衛	18	2.6
株式会社三菱UFJ銀行	16	2.4
株式会社日本カストディ銀行（信託口4）	15	2.2

（注）持株比率は自己株式（92,478株）を控除して計算しております。

### ⑤その他株式に関する重要な事項

当社は、株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図ることを目的として、2020年7月30日開催の取締役会において、2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行うことを決議し、当社定款を変更しております。これにより、発行可能株式総数は3,200,000株増加し、6,400,000株となり、発行済株式の総数は800,000株増加し、1,600,000株となっております。

### (2) 新株予約権等の状況

- ① 当事業年度末日において当社役員が保有している職務執行の対価として交付された新株予約権の状況  
該当事項はありません。
- ② 当事業年度中に職務執行の対価として使用人等に対し交付した新株予約権の状況  
該当事項はありません。

### (3) 会社役員の状況

#### ① 取締役および監査役の状況（2020年8月31日現在）

会社における地位	氏名	担当および重要な兼職の状況
代表取締役社長	水口大輔	HKS EUROPE LIMITED取締役社長 HKS (Thailand) Co., Ltd. 取締役社長 HKS SP Ltd. 取締役社長 艾馳楷時(上海)貿易有限公司董事長 HKS USA, INC. 取締役社長 株式会社エッチ・ケー・エス テクニカルファクトリー 代表取締役社長 日生工業株式会社代表取締役社長
常務取締役	赤池龍記	管理部長兼財務部長 HKS-IT Co., Ltd. 取締役社長
取締役	坂詰達也	営業部長
取締役	北根幸道	
常勤監査役	植松敏光	
監査役	河野誠	河野法律事務所所長
監査役	塩川修治	TMI総合法律事務所顧問弁理士

(注) 1. 取締役 北根幸道氏は社外取締役であります。

2. 常勤監査役 植松敏光氏、監査役 河野誠氏および塩川修治氏は社外監査役であります。

3. 常勤監査役 植松敏光氏は東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。

#### ② 事業年度中に退任した監査役

氏名	退任日	退任事由	退任時の地位・担当および重要な兼職の状況
山本昭明	2019年11月28日	辞任	社外監査役 株式会社山本ブランドデザイン研究所代表取締役社長

#### ③ 責任限定契約の内容の概要

当社と各社外監査役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任限度額は、法令に定める最低責任限度額となっております。

#### ④ 取締役および監査役の報酬等の総額

区 分	支 給 人 員	支 給 額
取 締 役 (うち社外取締役)	4名 ( 1名)	44百万円 ( 6百万円)
監 査 役 (うち社外監査役)	4名 ( 4名)	7百万円 ( 7百万円)
合 計	8名	52百万円

- (注) 1. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。  
 2. 支給額には、当事業年度に計上した役員退職慰労引当金を含めております。  
 3. 取締役の報酬限度額は、1996年11月26日開催の定時株主総会において年額204百万円以内(ただし、使用人分給与は含まない。)と決議いただいております。  
 4. 監査役の報酬限度額は、1996年11月26日開催の定時株主総会において年額36百万円以内と決議いただいております。  
 5. 上記の他、2019年11月28日開催の定時株主総会決議に基づき、役員退職慰労金を退任監査役1名に対して0百万円支給しております。なお、この金額については過年度の事業報告において開示した役員退職慰労金の繰入額(0百万円)が含まれております。

#### ⑤ 社外役員に関する事項

##### イ. 他の法人等の重要な兼職状況および当社と当該他の法人等との関係

- ・ 監査役 河野誠氏が所長を務める河野法律事務所と当社との間に、顧問契約を締結しております。
- ・ 監査役 塩川修治氏が顧問弁理士を務めるTMI総合法律事務所と当社の間には、知的財産に関する委託業務取引があります。

##### ロ. 当事業年度における主な活動状況

	活動状況
取締役 北 根 幸 道	当事業年度に開催された取締役会16回の全てに出席いたしました。企業経営に關しての幅広い経験に基づき、議案審議に必要な発言を適宜行っております。この他、品質保証会議等当社が設置する各種会議体にも出席し、助言・提言を行っております。
常 勤 監査役 植 松 敏 光	当事業年度に開催された取締役会16回のうち15回、および監査役会12回のうち11回に出席いたしました。企業経営に關しての幅広い経験から、取締役会および監査役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するため助言・提言を行っております。
監査役 河 野 誠	当事業年度に開催された取締役会16回の全て、および監査役会12回の全てに出席いたしました。主に弁護士としての専門的見地から、取締役会および監査役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するため助言・提言を行っております。
監査役 塩 川 修 治	就任後に開催された取締役会11回の全て、および監査役会9回の全てに出席いたしました。弁護士事務所の経営者として企業経営に關しての幅広い経験から、取締役会および監査役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するため助言・提言を行っております。

#### (4) 会計監査人の状況

- ① 名称 芙蓉監査法人
- ② 報酬等の額

	支払額
イ. 会計監査人の報酬等の額	20百万円
ロ. 会社および子会社が支払うべき金銭等の合計額	20百万円

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を区分しておらず、実質的にも区分できないため、上記イ.の金額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 監査役会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況および報酬見積り額の算出根拠などが適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬等の額について同意の判断をいたしました。

#### ③ 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意により、会計監査人を解任いたします。

また、監査役会は、会計監査人が職務を適正に遂行することが困難と認められる場合には、株主総会に提出する会計監査人の解任または不再任に関する議案の内容を決定いたします。

# 連結貸借対照表

(2020年8月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	(5,324,669)	流 動 負 債	(2,078,597)
現金及び預金	1,707,967	支払手形及び買掛金	224,626
受取手形及び売掛金	1,031,715	電子記録債務	357,286
有価証券	599,923	短期借入金	893,843
製品	1,133,313	リース債務	6,283
仕掛品	190,302	未払法人税等	28,086
原材料及び貯蔵品	516,724	賞与引当金	96,776
その他	149,495	その他	471,694
貸倒引当金	△4,771	固 定 負 債	(1,060,447)
固 定 資 産	(6,434,036)	長期借入金	599,316
有形固定資産	(5,537,302)	リース債務	22,109
建物及び構築物	1,853,639	役員退職慰労引当金	43,140
機械装置及び運搬具	1,331,425	退職給付に係る負債	388,770
土地	2,221,187	その他	7,111
リース資産	26,491	負 債 合 計	3,139,044
建設仮勘定	16,402	純 資 産 の 部	
その他	88,155	株 主 資 本	(8,650,863)
無形固定資産	(158,948)	資 本 金	878,750
その他	158,948	資本剰余金	963,000
投資その他の資産	(737,785)	利益剰余金	7,159,901
投資有価証券	410,355	自己株式	△350,787
長期貸付金	10,772	その他の包括利益累計額	(△31,202)
繰延税金資産	254,550	その他有価証券評価差額金	32,177
その他	63,775	為替換算調整勘定	△63,380
貸倒引当金	△1,669	純 資 産 合 計	8,619,661
資 産 合 計	11,758,706	負 債 ・ 純 資 産 合 計	11,758,706

# 連結損益計算書

(2019年9月1日から  
2020年8月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売上高		7,226,385
売上原価		4,500,082
売上総利益		2,726,303
販売費及び一般管理費		2,628,643
営業利益		97,659
営業外収益		51,845
受取利息配当金	12,988	
為替差益	8,382	
受取賃貸料	6,246	
スクラップ売却益	2,447	
その他	21,780	
営業外費用		9,159
支払利息	5,539	
その他	3,619	
経常利益		140,345
特別利益		111,919
固定資産売却益	12,614	
補助金収入	94,414	
受取補償金	4,891	
特別損失		34,910
固定資産除却損	2,137	
投資有価証券評価損	43	
減損	32,729	
税金等調整前当期純利益		217,355
法人税、住民税及び事業税	100,831	
法人税等調整額	△7,383	
当期純利益		123,906
非支配株主に帰属する当期純損失(△)		△24,545
親会社株主に帰属する当期純利益		148,451

## 連結株主資本等変動計算書

(2019年9月1日から  
2020年8月31日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
2019年9月1日残高	878,750	963,000	7,053,903	△350,615	8,545,038
当連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△42,453		△42,453
親会社株主に帰属する 当期純利益			148,451		148,451
自己株式の取得				△172	△172
株主資本以外の項目の 当連結会計年度中の変動額(純額)					
当連結会計年度中の変動額合計	—	—	105,997	△172	105,825
2020年8月31日残高	878,750	963,000	7,159,901	△350,787	8,650,863

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
2019年9月1日残高	40,292	△60,572	△20,279	24,614	8,549,372
当連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当					△42,453
親会社株主に帰属する 当期純利益					148,451
自己株式の取得					△172
株主資本以外の項目の 当連結会計年度中の変動額(純額)	△8,115	△2,807	△10,922	△24,614	△35,536
当連結会計年度中の変動額合計	△8,115	△2,807	△10,922	△24,614	70,288
2020年8月31日残高	32,177	△63,380	△31,202	—	8,619,661

# 貸借対照表

(2020年8月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	(4,895,675)	流動負債	(1,824,614)
現金及び預金	1,085,015	支払手形	34,154
受取手形	50,673	営業外支払手形	4,023
売掛金	1,244,832	電子記録債務	357,286
有価証券	599,923	買掛金	116,509
製品	818,817	短期借入金	600,000
仕掛品	130,731	1年内返済予定長期借入金	239,258
原材料及び貯蔵品	478,052	リース債務	4,122
前払費用	47,240	未払金	150,090
関係会社短期貸付金	299,900	未払費用	24,391
未収入金	91,102	未払法人税等	9,439
その他	51,546	未払消費税等	39,785
貸倒引当金	△2,160	前受金	14,153
固定資産	(5,937,039)	預り金	157,869
有形固定資産	(4,288,377)	賞与引当金	73,529
建物	979,152	固定負債	(929,009)
構築物	201,689	長期借入金	480,928
機械装置	977,408	リース債務	17,520
車両運搬具	111,149	退職給付引当金	388,770
工具器具備品	59,975	役員退職慰労引当金	35,390
土地	1,922,359	その他	6,400
リース資産	20,358	負債合計	2,753,623
建設仮勘定	16,283	純資産の部	
その他	0	株主資本	(8,046,249)
無形固定資産	(140,247)	資本金	(878,750)
ソフトウェア	92,751	資本剰余金	(963,000)
電話加入権	12,646	その他資本剰余金	963,000
その他	34,850	利益剰余金	(6,555,287)
投資その他の資産	(1,508,414)	利益準備金	50,760
投資有価証券	404,176	その他利益剰余金	(6,504,527)
関係会社株式	878,926	固定資産圧縮積立金	61,555
長期貸付金	18,422	別途積立金	5,439,000
破産債権等	469	繰越利益剰余金	1,003,972
長期前払費用	7,800	自己株式	(△350,787)
繰延税金資産	167,143	評価・換算差額等	(32,841)
その他	39,291	その他有価証券評価差額金	32,841
貸倒引当金	△7,817	純資産合計	8,079,091
資産合計	10,832,714	負債・純資産合計	10,832,714



# 損 益 計 算 書

(2019年9月1日から  
2020年8月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	5,854,019
売 上 原 価	3,514,107
売 上 総 利 益	2,339,912
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,264,431
営 業 利 益	75,480
営 業 外 収 益	89,179
受 取 利 息 配 当 金	52,336
有 価 証 券 利 息	5,778
受 取 賃 貸 料	4,849
受 取 事 務 手 数 料	6,754
ス ク ラ ッ プ 売 却 益	1,926
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	3,932
雑 収 入	13,601
営 業 外 費 用	11,510
支 払 利 息	4,827
為 替 差 損	3,231
雑 損 失	3,451
経 常 利 益	153,149
特 別 利 益	96,101
固 定 資 産 売 却 益	5,308
補 助 金 収 入	85,900
受 取 補 償 金	4,891
特 別 損 失	13,190
固 定 資 産 除 却 損	2,132
投 資 有 価 証 券 評 価 損	43
関 係 会 社 株 式 評 価 損	11,014
税 引 前 当 期 純 利 益	236,060
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	41,765
法 人 税 等 調 整 額	60,242
当 期 純 利 益	175,817

# 株主資本等変動計算書

(2019年9月1日から  
2020年8月31日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本							
	資 本 金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金				利 益 剰 余 金 合 計
		そ の 他 資 本 剰 余 金	資 本 剰 余 金 合 計	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金	固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	別 途 積 立 金	
2019年9月1日残高	878,750	963,000	963,000	46,514	45,545	5,439,000	890,864	6,421,923
当事業年度中の変動額								
利益準備金の積立				4,245			△4,245	—
剰余金の配当							△42,453	△42,453
固定資産圧縮積立金の積立					30,794		△30,794	—
固定資産圧縮積立金の取崩					△14,784		14,784	—
当期純利益							175,817	175,817
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額(純額)								
当事業年度中の変動額合計	—	—	—	4,245	16,010	—	113,108	133,363
2020年8月31日残高	878,750	963,000	963,000	50,760	61,555	5,439,000	1,003,972	6,555,287

	株 主 資 本		評 価 ・ 換 算 差 額 等		純 資 産 合 計
	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
2019年9月1日残高	△350,615	7,913,058	40,916	40,916	7,953,974
当事業年度中の変動額					
利益準備金の積立		—			—
剰余金の配当		△42,453			△42,453
固定資産圧縮積立金の積立		—			—
固定資産圧縮積立金の取崩		—			—
当期純利益		175,817			175,817
自己株式の取得	△172	△172			△172
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額(純額)			△8,074	△8,074	△8,074
当事業年度中の変動額合計	△172	133,191	△8,074	△8,074	125,117
2020年8月31日残高	△350,787	8,046,249	32,841	32,841	8,079,091

# 連結計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2020年10月15日

株式会社エッチ・ケー・エス  
取締役会 御中

芙蓉監査法人

静岡県静岡市

指定社員 公認会計士 金田 洋一 (印)  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 鈴木 岳 (印)  
業務執行社員

### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社エッチ・ケー・エスの2019年9月1日から2020年8月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社エッチ・ケー・エス及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2020年10月15日

株式会社エッチ・ケー・エス  
取締役会 御中

芙蓉監査法人

静岡県静岡市

指定社員 公認会計士 金田 洋一 (印)  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 鈴木 岳 (印)  
業務執行社員

### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社エッチ・ケー・エスの2019年9月1日から2020年8月31日までの第47期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
  - ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
  - ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
  - ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
  - ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- 監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、2019年9月1日から2020年8月31日までの第47期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人芙蓉監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人芙蓉監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2020年10月22日

株式会社エッチ・ケー・エス 監査役会

常勤監査役 植松 敏 光 ⑩

監 査 役 河 野 誠 ⑩

監 査 役 塩 川 修 治 ⑩

(注) 監査役 植松敏光、河野誠及び塩川修治は、社外監査役であります。

以 上



# 株主総会参考書類

## 議案および参考事項

### 第1号議案 剰余金処分の件

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識し、配当金につきましては、継続的な安定配当を基本とし、業績および配当性向等を総合的に勘案して決定しております。

上記の方針に基づき第47期の期末配当につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

#### 期末配当に関する事項

(1) 配当財産の種類

金銭といたします。

(2) 配当財産の割当に関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき金60円	総額	42,451,320円
-----------------	----	-------------

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日

2020年11月30日

## 第2号議案 定款一部変更の件

### 1. 提案の理由

(1) 業務執行取締役等でない取締役が期待される役割を十分に発揮できるよう、また、有用な人材の招聘を継続的に行うことができるようにするため、会社法第427条の規定により責任限定契約を締結することができる旨の規定として、定款第30条を新設するものであります。

なお、定款第30条（取締役の責任限定契約）の新設に関しましては、各監査役の同意を得ております。

(2) 上記条文の新設に伴い、条数の繰り下げを行うものであります。

### 2. 変更の内容

変更の内容は、次のとおりであります。

(下線は変更部分を示します。)

現行定款	変更案
<p>(新 設)</p>	<p>(取締役の責任限定契約)  <u>第30条</u> 当社は、取締役（業務執行取締役等であるものを除く。）との間で、<u>会社法第423条第1項の賠償責任について法令の定める要件に該当する場合には、賠償責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく賠償責任の限度額は、法令に定める最低責任限度額とする。</u></p>
<p><u>第30条～第46条</u> (条文省略)</p>	<p><u>第31条～第47条</u> (現行どおり)</p>

### 第3号議案 取締役3名選任の件

取締役水口大輔、坂詰達也および北根幸道の各氏は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので、取締役3名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況	所有する当社株数
1	みずぐちだいすけ 水口大輔 (1969年10月8日)	1993年4月 当社入社 2011年6月 当社CNG開発部長 2012年11月 当社取締役 2016年11月 当社代表取締役社長(現任) 2018年8月 HKS EUROPE LIMITED取締役社長(現任) HKS(Thailand)Co.,Ltd.取締役社長(現任) HKS SP Ltd.取締役社長(現任) HKS USA, INC.取締役社長(現任) 艾馳楷时(上海)貿易有限公司董事長(現任) 株式会社エッチ・ケー・エス テクニカル ファクトリー代表取締役社長(現任) 2019年8月 日生工業株式会社代表取締役社長(現任)	2,400株
2	さかづめたつや 坂詰達也 (1961年11月25日)	1987年8月 当社入社 2012年2月 当社電子制御開発部長 2014年7月 当社自動車開発部長 2014年11月 当社取締役(現任) 2018年3月 当社第1開発部長 当社第2開発部長 2018年9月 当社商品戦略室長 2019年9月 当社営業部長(現任)	4,000株
3	きたねゆきみち 北根幸道 (1941年1月17日)	1963年4月 新三菱重工業株式会社(現三菱自動車工業株式会社)入社 1997年6月 同社取締役乗用車開発本部副本部長 1998年6月 米国三菱自動車株式会社取締役社長 2000年6月 株式会社ラリーアート代表取締役社長 2010年11月 当社常勤監査役 2018年11月 当社取締役(現任)	400株

(注) 1. 各取締役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。

2. 北根幸道氏は、社外取締役候補者であります。

3. 北根幸道氏を社外取締役候補者とした理由

長年にわたり自動車メーカーの経営に関与された豊富な経験と見識を備えられており、また、2010年より8年間、当社の監査役を務めていただき、当社事業および当社組織を熟知されており、社外取締役としての職務を適切に遂行いただけるものと判断し、社外取締役の候補者といたしました。

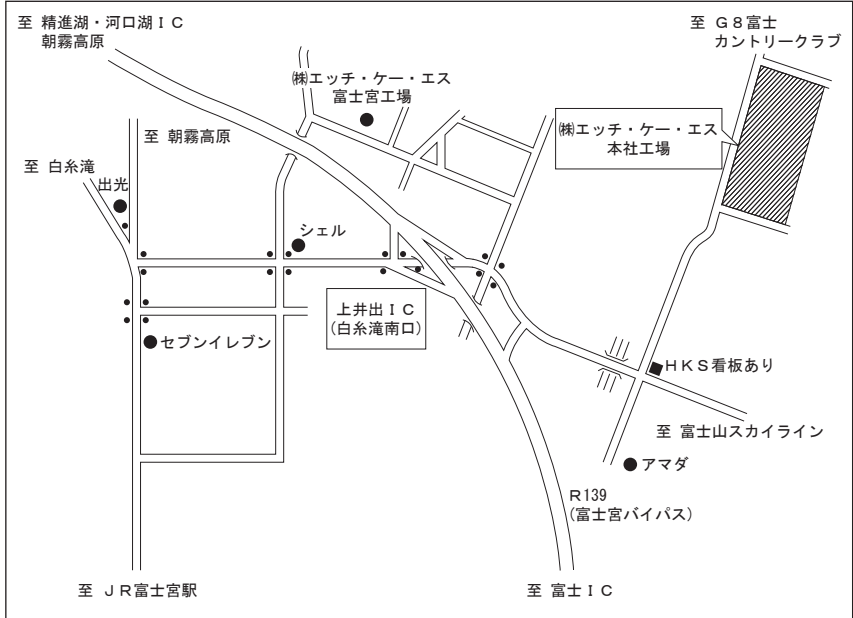
なお、同氏の当社社外取締役在任期間は、本総会の終結の時をもって2年であります。

4. 北根幸道氏の選任が承認された場合、第2号議案「定款一部変更の件」が承認可決されることを条件に、当社は同氏との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結する予定であります。なお、当該契約に基づく損害賠償責任限度額は、会社法第425条第1項に定める最低限度額といたします。

以上

# 株主総会会場ご案内図

会場：静岡県富士宮市北山7181番地  
株式会社エッチ・ケー・エス 本社工場 4号棟3階会議室  
TEL 0544-29-1111



## ・交通

- J R 身延線 富士宮駅下車 タクシーにて約25分
- J R 東海道新幹線 新富士駅下車 タクシーにて約45分
- 東名高速道路 富士ICより  
西富士道路経由～富士宮バイパス上井出IC下車 約30分
- 新東名高速道路 新富士ICより  
西富士道路経由～富士宮バイパス上井出IC下車 約25分